



てき丸君News 第5号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

第13回産業廃棄物と環境を考える全国大会 11月に岩手県盛岡市で開催

毎年秋の恒例行事ともなっている「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を、今年度は11月7日（金）に岩手県盛岡市にて下記要領で開催することとなりましたのでお知らせ致します。

近く正式にご案内致しますが、今回の全国大会は基調講演を酒井伸一先生（京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター長）にご依頼しているほか、学識者、行政担当者、地元産業界及び産廃処理業界の代表者によるパネル討論会も企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。（総務部・古川）

1. 開催次第等

- (1) 日 時 全国大会 平成26年11月7日（金）13：30～17：20
交流会 同上 18：00～20：00
- (2) 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング4階「メトロポリタンホール」
〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27
TEL：019-625-1211（大代表）
- (3) 出席者 産廃処理業者、排出事業者、行政、一般市民等 500名程度
- (4) 開催次第、行事内容
 - ①開会式（13：30～13：45）
 - ②環境大臣表彰受賞式典（産業廃棄物関係事業功労者）（13：45～14：20）
 - ③基調講演（14：20～15：20）
 - ④パネル討論会（15：30～17：20）

2. 基調講演

- ・講演者 酒井 伸一 氏（京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター長）
- ・テーマ 調整中

3. パネル討論会

- ・討論会のねらい
青森・岩手県境の大規模不法投棄事件の発生から現在の状況、同事件から生まれた不法投棄対策や循環型社会の形成に関する施策、産廃処理業の優良化の取り組み、そして東日本大震災における災害廃棄物等を踏まえ、今後の産業廃棄物処理の方向性等を話し合う。

- ・テーマ 「環境再生そして循環型社会への挑戦」
- ・コーディネーター
齋藤 徳美 氏 岩手大学名誉教授（放送大学岩手学習センター所長）
- ・パネリスト（ご依頼中含む）
環境省
岩手県 津軽石 昭彦 氏 岩手県環境生活部副部長
産業界 小池 敦裕 氏 太平洋セメント株式会社大船渡工場長
処理業 門脇 生男 氏 一般社団法人岩手県産業廃棄物協会会長

連合会よりお知らせ

●第20回理事会を開催

当連合会の第20回理事会を7月8日（火）に開催しました。

今回の理事会では、①地域協議会役員について②委員会委員及び部会運営委員等の選任について③常勤役員の報酬額について④地域協議会活動支援金の交付について⑤平成26年度適正処理推進事業等活動支援金交付について⑥保存期間経過後会計関係書類の処分について⑦表彰規則の改正について、の7つの議案が審議されたほか、来年度税制改正要望等に関する協議等も行われました。地域協議会役員、委員会委員及び部会運営委員に選任された方々は次のとおりです。（総務部・古川）

*カッコ内は所属協会の都道府県名等、◎印は地域協議会会長、委員長または部会長、○印は地域協議会副会長、敬称略

一地域協議会役員一

【北海道・東北】◎門脇生男（岩手）○佐藤俊彦（福島）○鈴木昇（宮城）【関東】◎石井邦夫（千葉）○城田裕司（群馬）○松澤博三（埼玉）【信越・北陸】◎小田島繁信（新潟）○平栗幹夫（長野）○毎田正男（石川）【中部】◎永井良一（愛知）○木村亮一（三重）【近畿】◎國中賢吉（大阪）○文盛厚（京都）○武田全弘（和歌山）【中国】◎野津勝男（島根）○越生昭徳（鳥取）【四国】◎本田昭（愛媛）○東條昭二（徳島）○脇鎌一（香川）【九州】◎三谷純夫（鹿児島）○大野羊逸（熊本）○海野博（長崎）

一委員会一

【総務・倫理】◎小田島繁信（新潟）、門脇生男（岩手）、深澤正勝（茨城）、粥川長司（岐阜）、北川秀修（奈良）、榎本隆博（山口）、東條昭二（徳島）、三谷純夫（鹿児島）【法制度対策】◎永井良一（愛知）、村井公裕（北海道）、佐久間清敏（栃木）、松澤博三（埼玉）、杉田昭義（千葉）、古敷谷裕二（神奈川）、谷崎晃（福井）、筒井照雄（三重）、田中正敏（大阪）、浜野廣美（大阪）、永川仁秀（兵庫）、大塚雅司（岡山）、本田昭（愛媛）、當野幸哉（沖縄）【マニフェスト推進】◎城田裕司（群馬）、鈴木信夫（山形）、小出英昭（千葉）、岩田隆（富山）、長谷部政行（岐阜）、浜野廣美（大阪）、松本清信（奈良）、山本誠（広島）、齋藤雅幸（徳島）、梅田佳暉（福岡）【教育研修】◎三谷純夫（鹿児島）、木村光政（福島）、赤石賢治（東京）、海野忠一（長野）、秋田勝（静岡）、松田裕雄（大阪）、岩本充博（岡山）、青木育裕（香川）、吉村純男（長崎）、竹内敏（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）【安全衛生】◎武田全弘（和歌山）、渡邊浩一（宮城）、長谷川滋（神奈川）、毎田正男（石川）、加山昌弘（愛知）、三谷哲也（広島）、森政雄（徳島）、篠原隆博（佐賀）

一部会運営委員会一

【収集運搬】◎佐久間清敏（栃木）、工藤昭義（青森）、倉沢登志夫（群馬）、澤飯光稔（富山）、西山幸光（愛知）、藤定孝光（兵庫）、石井政之（山口）、佐々木隆二（愛媛）、中ノ瀬浩己（長崎）【中間処理】◎永川仁秀（兵庫）、一重卓男（福島）、東原記守（山梨）、青木幹夫（新潟）、小島晃（愛知）、東浦知哉（兵庫）、竹田識生（山口）、吉田健一（愛媛）、田筆英治（福岡）【最終処分】◎杉田昭義（千葉）、中山勝範（北海道）、都築建（東京）、勝山剛頼（長野）、三浦洋次（三重）、松本明利（大阪）、檜垣光次（広島）、塩田定一（香川）、野原雅浩（熊本）【医療廃棄物】◎古敷谷裕二（神奈川）、宇角安弘（宮城）、伊丹重貴（東京）、高山盛司（石川）、岩間雄一（静岡）、國中賢一（大阪）、折崎聡（山口）、岸史郎（徳島）、中田浩利（熊本）【建設廃棄物】◎浜野廣美（大阪）、庄司肇（青森）、藤枝慎治（神奈川）、福岡秀樹（福井）、海野治義（静岡）、文盛厚（京都）、藏本悟（岡山）、東條智之（徳島）、三橋雅之（福岡）

●産廃処理業景況動向調査結果について（2014.1 - 3月期）

消費増税後の落ち込みなどの先行きの不透明感がある中で、大雪など悪天候の影響も重なり、業況は足踏み状態となっている。

2014年1-3月期の景況判断を「悪化」とした企業は19%で前回調査（2013年10-12月期18%）より1ポイント悪化、「好転」とした企業は13%で前回調査（16%）より3ポイント悪化した。景況判断DIは▲6となり、前回調査（▲2）より4ポイント減と2013年4-6月期依頼9ヶ月ぶりに悪化している。回答企業数は385社。（調査部・戒能）

部会便り

●収集運搬部会

収集運搬部会は、7月2日に平成26年度第2回運営委員会を開き、産業廃棄物処理業における欠格要件や中型運転免許制度見直しに向けた他団体の動向などについて、意見交換を行いました。欠格要件については、他法との大きな違いとして、5%以上の貸金者・株主・出資者を役員との範囲とする点が挙げられました。

また、中型運転免許制度見直しの動向について、警察庁が「貨物自動車に係る運転免許制度のあり方に関する有識者検討会」（報告書：https://www.npa.go.jp/koutsuu/menkyo/kamotsu_menkyo/report/O2_report.pdf）を設置し、普通免許で運転できる車両の適用範囲の拡大について検討を行っていることを報告しました。（調査部・戒能）

●建設廃棄物部会

国土交通省は、「建設リサイクル推進に係る方策（とりまとめ案）」についてのパブリックコメントを行っており、7月29日に開催される「建設リサイクル推進施策検討小委員会」で個別意見への対応案を整理し、8月9日に公表される予定です。

小委員会には連合会からも建設廃棄物部会長が委員として出席しており、建設廃棄物部会では、建設リサイクルの推進に向けた課題について意見交換を行っています。課題として、建設汚泥の搬出状況の把握やRC（再生砕石）の利用促進などが挙げられています。（調査部・戒能）

ご案内

◇INDUST8月号特集のご案内
特集 環境と福祉の融合が描く未来

昨年度、障がい者雇用率が引き上げられた。従業員50人以上の民間企業では2.0%になり、「共生社会」の理念の下、今後ますます障がい者の活躍の機会が広がっていくものと思われます。それに限らず、近年、産業廃棄物処理業界では障がい者や高齢者の雇用が広がっており、「環境と福祉の融合」が着実に進んでいます。

環境福祉学会の小池大哲副会長は、「本来、環境と福祉は相関関係にあり、（中略）福祉の整備は環境の整備を伴う」と指摘し、環境と福祉の関係性を強調されています。障がい者等の自立支援を通じた共生社会の実現と、環境分野における持続可能な事業の構築は多くの接点を持つようになることも考えられます。そこで、今号では環境と福祉の融合が描く可能性を探ります。

（事業部・東方）

青年部協議会活動の紹介

青年部協議会第15回通常総会を7月25日午後4時より、青山ダイヤモンドホールにて開催しました。開催結果に関しては次号にてご報告いたします。

◇CSR2環境教育事業in琵琶湖（近畿ブロック）

来る8月24日（日）、琵琶湖の生態系と外来種問題について学びを深め、環境産業に携わる私達や家族が、積極的に環境について学ぶことで改めて自らの仕事の意義や大切さを再確認し、また、次世代を担う子供達の参加を積極的に促すことで、私達の「環境への想い」を引き継いでいく環境教育を実施いたします。

主な行事予定

◇8月の行事予定

- 1日（金） 平成26年度第1回全国正会員事務局責任者会議
- 7日（木） 平成26年度第1回法制度対策委員会
- 27日（水） 産業廃棄物処理実務者研修会（秋田）



官公庁関係ニュース

●環境省が移動式がれき類等破碎施設に係る考え方等で通知

環境省は、「移動式がれき類等破碎施設に係る考え方及び設置許可申請に係る審査方法について」（平成26年5月30日 環廃産発第1405303号）の通知を发出了しました。

移動式がれき類等破碎施設は、その特性から設置場所が定まらず、廃掃法における生活環境影響調査の手法が示されていないこと等から、その取扱いが自治体間で異なる状況となっています。このたび、それを受けて、設置等の許可に規定する技術上の基準等についての審査方法及び生活環境影響調査の実施方法に関する考え方が示されました。

本通知の対象とする施設は、産業廃棄物処理業者が、工事現場及び工事と一体として管理されている仮置き場内（「排出現場等」）において、工事の一環として期間を区切って設置する移動式がれき類等破碎施設です。（調査部・日浦）

●環境省が施設の変更許可申請時の生活環境影響調査について通知

環境省は、「産業廃棄物処理施設に係る許可の際の生活環境影響調査書の取扱いについて」（平成26年6月23日 環廃産発第14062313号）の通知を发出了しました。

同通知により、変更許可申請時の生活環境影響調査書の取扱いに関する内容について、廃掃法上の取扱いが示されました。

設置許可を受けた施設を全く同じ内容（設置の場所、施設の種類、処理する産業廃棄物の種類、処理能力、施設の位置・構造、維持管理計画）で入れ替える場合は、変更許可申請の際に、生活環境影響調査書（ミニアセス）の添付は不要です。（調査部・日浦）

●水俣条約に関する国の動向について

中央環境審議会大気・騒音振動部会水銀大気排出対策小委員会では、水俣条約を踏まえた今後の水銀の大気排出対策について検討しています。第2回（7月3日）、第3回（7月9日）は水銀大気排出に関するヒアリングが行われました。前号でもお知らせしたとおり、連合会は第3回でヒアリングを受けました、第4回（7月30日）には論点整理案が示されました。

<http://www.env.go.jp/council/07air-noise/y079-03b.html>

一方、前号の続きとなりますが、中央環境審議会循環型社会部会水銀廃棄物適正処理検討専門委員会には、当連合会より専務理事の森谷が委員として会議に出席しております。

本専門委員会は、水俣条約を踏まえ、金属水銀及び高濃度の水銀含有物を廃棄物として処分する際の環境上適正な処理方法、及び水銀添加廃製品の環境上適正な管理の促進方策について、その排出実態や特性に応じて検討することを目的として設置されたものです。

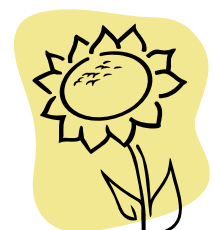
第2回専門委員会（7月2日）において、「水銀廃棄物の処理に関する論点と考え方（案）」が示されました。

本資料は、は第3回専門委員会（8月28日）にて、その内容を確定する予定となっています。

資料について、お気づきの点やご意見がありましたら、8月22日（金）までに連合会担当まで、メール等（chosa@zensanpairen.or.jp）でお寄せくださいますようお願い申し上げます。

<http://www.env.go.jp/council/03recycle/y039-02b.html>（資料4を参照）

（調査部・日浦）



平成26年度産業廃棄物処理実務者研修会のお知らせ

当連合会では、平成26年度の「産業廃棄物処理実務者研修会」を下記の要領で開催致します。
 受講を希望される方は、当連合会HPから受講申込み（インターネット申込み）をされるか、あるいは
 受講申込書を入手の上、申込手続きをしてくださるようお願い致します。

【日程】

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	千葉県	平成26年 6月18日(水)	千葉県自治会館	終了
2	神奈川県	平成26年 7月24日(木)	Lプラザかながわ労働プラザ	終了
3	秋田県	平成26年 8月27日(水)	秋田アトリオン	150
4	茨城県	平成26年 9月 3日(水)	開発公社ビル	130
5	山形県	平成26年 9月18日(木)	ヒルズサンピア山形	100
6	福井県	平成26年10月 8日(水)	ユニオンプラザ福井	100
7	三重県	平成26年10月16日(木)	四日市市商工会議所会館	120
8	東京都	平成26年11月18日(火)	ベルサール西新宿	150
9	群馬県	平成26年11月28日(金)	群馬建設会館	150

【カリキュラム】すべての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。

10:00 12:00 12:50 14:30 16:00 16:30

産業廃棄物処理の基礎	昼休み	産業廃棄物の委託処 理と委託契約	産業廃棄物管理 票・帳簿	質疑応答・ 修了証の交付
------------	-----	---------------------	-----------------	-----------------

【受講申込・問合せ先】

受講を希望される方は、（公社）全国産業廃棄物連合会のHP（<http://www.zensanpairen.or.jp>）か
 らインターネット申込みをしていただくか、又は下記までお問い合わせ下さい。

<問合せ先>（公社）全国産業廃棄物連合会事業部

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

※本研修会は、継続学習制度（CPDS）の講習会（一般社団法人全国土木施工管理技士連合会）に認定さ
 れたと同時に、下記CPD制度の共通認定プログラムです。

建築CPD情報提供制度、JIA CPD制度、建築士会CPD制度、建築設備士関係団体CPD制度、
 APECアーキテクト、APECエンジニア

